

2009年9月12日(土)  
沖縄タイムス(経済面)

11年)9月12日 土曜日

経 済 8

# NATCO 清算終了

## 53年の歴史に幕 株主分配102億円

那覇空港の旧ターミナルビルを運営し、2005年7月から清算手続きを進めてきた那覇空港ターミナル(NATCO)は9日、株主を集めた会議を開き、清算業務の終了を報告した。4年におよんだ清算業務の決算報告書などを承認、株主には5回の財産分配で合計約102億円(税金含む)が分配された。清算終了で1956年の設立以来、53年の歴史に幕を下ろした。

清算開始から、土地、建物などの不動産、保有する上場企業株式など有価証券を売却するなどし、株主への分配を進めてきた。

ただ、同社が保有していた現ターミナルビルの運営会社、那覇空港ビルディング(NABCO)の株式(1万4350株)売却で、譲渡価格めぐる交渉に時間がかかった。6月に裁判所が1株13万9758円と評価し、総額約20億

円でNABCOが買い取ることで決着し、清算終了の見通しがついた。

清算開始時の現金預金と資産処分での現金化するなどした金額は約122億円。

旧ターミナルビルの取り壊し費用約7億円など清算中にかかった費用約20億円を引いた分が、株主への分配原資となった。

代表清算人の山内真樹公認会計士は「設立から43年間、

沖縄の空の玄関口を担ってきた歴史ある会社だけに、清算終了でき安堵している。これだけの資産を積み上げた会社は珍しい」と話した。

設立時の資本金は1億9400万円で、残余財産はその52・94倍に増え、1株当たりの分配額は26万4712円となった。7日に分配を終えている。

NABCOは買い取った株式を引き受けてもらう方針で、県と株主構成について協議している。県など自治体や、航空会社、地元企業に保有してもらおうと考えて、割合は自治体3、航空3、地元企業4としたい考えだ。